

1-(3) 沿革（三育学院のあゆみ）

- 明治 29 年（1896 年） 米国ヒルズバーグ大学学長ウィリアム・C・グレンジャー、日本人留学生大河平輝彦を伴って、セブンスデー・アドベンチスト教団（プロテスタント系キリスト教）の宣教師として来日、宣教活動を開始。
- 明治 31 年（1898 年） 「芝和英聖書学校」を東京芝区芝公園に開校。
- 大正 8 年（1919 年） 「天沼学院」開校。小学部、中学部、高等部を併設。
- 大正 15 年（1926 年） 千葉県君津郡神納村（現在の袖ヶ浦市）に天沼学院男子部移転。名称を「日本三育学院」とする。天沼学院は「日本三育女学院」と改称。
- 昭和 3 年（1928 年） 「東京衛生病院看護婦学校」天沼に開校。のち「東京衛生病院看護婦養成所」を経て、1953 年、「東京衛生病院看護学院」に改称。
- 昭和 18 年（1943 年） 9 月 20 日、キリスト教信仰のゆえに治安維持法違反の容疑で、特高警察により院長以下主要教員が検挙・連行。女学院も同様。学院業務停止。12 月 26 日、千葉県令により学院閉鎖。
- 昭和 21 年（1946 年） 日本三育学院の再開決定、公示。
- 昭和 22 年（1947 年） 1 月 23 日、再開式挙行。
- 昭和 23 年（1948 年） 「財団法人日本三育学院」に改組。「日本三育学院神学校」と称する。中学校・高等学校併設。1950 年、小学校併設。
- 昭和 26 年（1951 年） 「学校法人日本三育学院」に変更。
- 昭和 28 年（1953 年） 「日本三育学院神学校」を「日本三育学院カレッジ」と改称。神学科、伝道科、教育学科、セクレタリー科を設置。
- 昭和 46 年（1971 年） 「三育学院短期大学」を開設。英語学科を設置。
- 昭和 49 年（1974 年） 「東京衛生病院看護学院」（東京都杉並区天沼）、カレッジに移管、カレッジ看護学科となる。
- 昭和 51 年（1976 年） 専修学校制度発足に伴い、カレッジを「専門学校三育学院カレッジ」と改称。設置学科は、キリスト教学科（のち神学科に改称）、教育学科（のちキリスト教教育学科に改称）、看護学科の三学科。
- 昭和 52 年（1977 年） 中学校・高等学校、広島県賀茂郡大和町へ移転。「広島三育学院」

となる。

- 昭和 53 年（1978 年） 専門学校・短期大学、千葉県夷隅郡大多喜町久我原に移転。小学校は市原市光風台に移転、「光風台三育小学校」となる。
- 昭和 55 年（1980 年） 学校法人名を「日本三育学院」から「三育学院」（現行）へ変更。
- 昭和 61 年（1987 年） カレッジ看護学科を短期大学看護学科に改組転換。短期大学は英語学科と看護学科の二学科となる。
- 平成 11 年（1999 年） 英語学科を英語コミュニケーション学科に改名。
- 平成 16 年（2004 年） 専攻科（地域看護学専攻）設置
- 平成 18 年（2006 年） 専攻科：学位認証の認定を受ける
- 平成 19 年（2007 年） 文部科学省より三育学院大学設置認可交付
- 平成 20 年（2008 年） 三育学院大学看護学部看護学科開学

現在に至る